

令和2年度 学校関係者評価結果

学校関係者評価委員		(敬称略)
委員長	千々和 隆生	学校法人能美学園 星琳高校 参与
副委員長	安部 和則	九州 CTB 専門学校 同窓会 会長
委員	町田その子	卒業生 (作家)

<p>認定の意味</p> <p>4：適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後さらに向上させるための意欲がある。</p> <p>3：ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。</p> <p>2：対応が十分ではなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。</p> <p>1：全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。</p>
--

基準1. 教育理念・目的・人材育成等		
評定	意見	自己評価
3. 1	<p>昨年までは北九州市が運営していた学校であり、教育理念や目的、人材育成像については長らく受け継いできたものがあり、それに沿ったカリキュラムや人材育成を行ってきたことが見受けられる。令和3年より学校法人国際学園へと継承することで、更なる理念の共有と目的、そして人材育成像を明確にし学校運営をおこなってほしい。</p>	3
		<p>これまで70年の歴史の中で培ってきたことや想いは継承しながらも、新たな理念やビジョンに沿った学校運営をおこない、社会に貢献できるような人材育成をおこなっていく。</p>

基準2. 学校運営		
評定	意見	自己評価
3	<p>昨年度はコロナの影響でイベントを通じた教育活動ができなかった。年間計画はしっかり策定しているので、社会に貢献する理美容人の育成を目的とし、更なる運営をおこなってほしい。教育活動の様子をSNS等で発信することで、外部への情報公開につながると思うので、実施するべきである。</p>	3. 2
		<p>基本的な年間計画は策定していたが、コロナの影響もあり実施することが困難な状況があった。より具体的な数値目標や行動目標を掲げ、計画に沿った学校運営をおこなっていく。</p>

基準 3. 教育活動		
評定	意見	自己評価
3	従来の教育課程をブラッシュアップし、今の時代に即した教育課程へと編成することが必要と思われる。また、授業評価の体制を確立し、教員の資質向上、生徒の学力向上につながるような施策をおこなってほしい。	3. 3
		授業評価の体制を確立し、業界や時代の流れ、ニーズに沿ったカリキュラム編成を行っていかなければならない。

基準 4. 学修成果		
評定	意見	自己評価
3. 7	コロナ禍においても就職率を高める動きは継続しており、様々な企業との連携を図っていた。国家試験合格率は 100% かなかったが、毎年国試対策を練り直し、合格率 100% に向けて取り組んでいる。未取得者についての対策、ケアもおこなっている。退学率の低減を行うために各教員が学生面談や保護者面談をおこない、未然に防ぐよう取り組んでいる様子が見える。継続してほしい。	3. 8
		国家試験合格率は 100% に届かなかった。国試対策をブラッシュアップして 100% に届くよう準備する。退学者は少なく、日々の面談や学生への細かな声掛けは継続して行っていきたい。

基準 5. 学生支援		
評定	意見	自己評価
3. 5	進路についてはほとんどが希望先へ就職できている。地元（北九州）に残る生徒も増えてきており、企業によってはこの学校の生徒しか採用していないという情報もあった。今後も地元根付いた学校運営、人材育成をおこなってほしい。	3. 4
		卒業生の活躍もあり、進路先の選択肢も増え有難い状況がある。コロナ禍において合同企業説明会はできなかったが、企業との連携を実施し関係維持に努めた。

基準 6. 教育環境		
評定	意見	自己評価
3. 8	昨年度はコロナの影響で学外のインターンや研修等は実施できていないが、実務実習については対策を行いながら実施。それぞれ企業と連携し、自分に合う企業を見つけていた様子。 実務実習での明確な目標設定、即戦力となる人材の育成をおこなうためのカリキュラム構成や教育環境を整備して行ってほしい。	4
		実務実習はコロナ禍ではあったが実施させていただき、各企業と連携しながらおこなえた。実務実習の目標や、実務実習を通じた人材育成目標を明確にしていきたい。

基準 7. 学生の受け入れ募集		
評定	意見	自己評価
2. 3	北九州市が運営していたこともあり、学納金が他の学校と比べて低く設定されていた。その影響もあり、美容科に関しては入学希望者が定員を埋まるほどであった。 これまでは学生募集に関する活動をほとんどおこなっていなかったため、今年から国際学園として学生募集にも力をいれていただきたい。 新しい学納金については、他の学校よりも低く設定し、生徒が通いやすい環境づくりを体現していると感じる。	2. 3
		学生募集活動の方法が一辺倒のものだったため、知っている学生しか獲得できていない状況だった。

基準 8. 財務		
評定	意見	自己評価
2. 3	学校単体で見ると財務については芳しくない状況がうかがえる。これまでは学生募集を積極的におこなえていない状況が見受けられた。 新たに国際学園としてガイダンスや高校訪問を重点的に行い、学生募集を最重要課題としてとらえ、財務状況改善に寄与してほしいと考える。	2. 2
		これまでは北九州市が運営をしており、はっきり把握できていない部分があった。単純に、学生の入学率をあげ、財務状況の改善を目指していきたい。

基準 9. 法令等の遵守		
評定	意見	自己評価
3. 1	法令を遵守し学校運営をおこなえている。 また個人情報保護についても厳しく対策をおこなっている。 自己評価等の情報公開をおこなえていないようなので、こちらは早急に公開を行うようお願いする。	3
		昨年度までは北九州市が運営しており、情報公開等がおこなえていなかった。今後は速やかな対応をしていく。

基準 10. 社会貢献・地域貢献		
評定	意見	自己評価
3. 7	昨年はコロナの影響でほとんどのイベントや地域貢献活動が困難な状況であった。 今後は計画に基づき行ってほしい。また、高校でおこなうキャリア教育の実施に教員を派遣するなど、現時点で取り組んでいることも積極的におこなってほしい。	4
		昨年度はコロナの影響でイベントや地域貢献活動ができない一年となった。計画は策定しているので計画に基づき実施していきたい。